

みんなで 生きよう

かみ
神さまのこどもたち

ねん
2022年
ごう
30号

デザイン/ MIKEtto

にほん きょうだんきょういっく いんかい へん
日本キリスト教団教育委員会 編

けんきんありこみさき ありかえ 振替 00150-8-27638
けんきん振込先: 日本キリスト教団教育委員会



クリスマスちゃん

ぜんごく みな
全国の皆さん、クリスマスおめでとうございます!

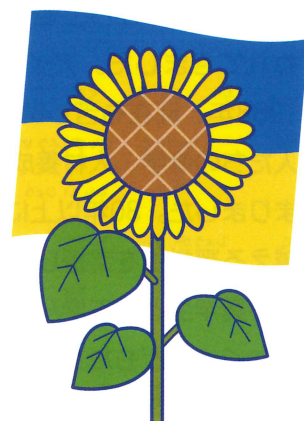
イエスさまのお誕生をお祝いする季節を迎えました。今年はウクライナのおともだち、アジア学院、アイヌ、東北のおともだちを覚えて献金をささげます。キリストの平和が世界の皆さんと共にありますように!

今年のクリスマス献金は 2022年度

ウクライナの子どもたち

〔献金先: 認定NPO法人 チャイルド・ファンド・ジャパンほか〕

みなさんはロシアという国がウクライナの国に対して戦争を始めたことを知っていますか。2022年2月24日、ロシア軍によるウクライナへの侵攻が突然始まりしました。ウクライナにはたくさんの爆弾が落とされ、家、学校、病院など、街や村が壊されました。そのため外国に逃げた人たちもたくさんいます。戦争により、安心して寝る場所や食べる物にも困るなど、現在も多くの人の命が危険にさらされています。今年のクリスマスは、困難な中にいるウクライナの子どもたちのために献金をおさげしたいと思います。



がっこうほうしん
学校法人 アジア学院
(アジア農村指導者養成専門学校)

がっこう とうち ぎけん な すしおばらし やま なか らいねん しゅうねん わか
学校は栃木県那須塩原市の山の中にあり、来年で50周年を迎えます。アジア学院のモットーは「共に生きるために」。アジアやアフリカから来た留学生は、有機農業による自給自足（自分たちの食べ物は自分たちで作ること）や共同生活を通して、村のリーダーとなるために学んでいます。研修後、卒業生の多くは自分の国や村に帰り、「貧しくても分かち合い、喜びをもって生きていける共同体」になれるよう、指導者として働いています。アジア学院に学生を送り出す団体のほとんどは発展途上国の小さな組織で、渡航費や授業料を出す余裕はありません。今年のクリスマスは、アジア学院で学んでいる学生たちを支援したいと思います。



みんなで田植え

クイズ

正解者にはクリアファイルをプレゼント!

羊飼いのところに天使があらわれてイエスさまの誕生のお知らせをしました。天使はなんと何と言ったのでしょうか?

「いと高き所には栄光、神にあれ、地には()、御心に適う人にあれ。」 ヒント ルカ 2:14

① 平和 ② 愛 ③ 希望

住所・名前・年齢・教会名を忘れずに。

しめきり 2023年1月31日 ファックス 03-3207-3918

送り先 日本キリスト教団教育委員会 宛 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31

切り取って献金袋にはつてね!



名前

金額

今年のクリスマス献金は日本のおともだち

【北海教区アイヌ民族情報センター】
アイヌ奨学金キリスト教協力会

アイヌ民族は昔から、自然と共に生きてきました。その一方、日本から土地や文化、言葉、多くの権利を奪われてきました。アイヌ奨学金キリスト教協力会は1988年、現在も苦しい状況に置かれているアイヌの人たちの修学・人材養成・国際交流の支援を目的に始まりました。30年以上にわたる活動の中で、100名を超える奨学生を支援し、現在は高校生1名、大学生5名が奨学生として学んでいます。また、学習支援だけでなく、子どもたちを生活の面から支える働きもしています(卒入学のお祝い・キャンプ・運動会など)。



とかちエテケカンパの子どもたち

【東北教区】
放射能問題支援対策室 いずみ

2011年3月11日に発生した東日本大震災のあと、福島県の原子力発電所から放射能がたくさん出て、空や海、土地が汚されました。東北教区放射能問題支援対策室 いずみは、放射能から子どもたちの健康を守るために活動しています。①甲状腺検査や健康相談、②親子保養プログラム、③「子ども被ばく裁判」「311子ども甲状腺がん裁判」などの支援です。これらの活動を支えるために、今年も献金をおささげしましょう。



親子保養プログラム in 北海道

2021年度

クリスマス献金報告

昨年度の献金は総額で6,283,814円(425件)。ありがとうございました。感謝して、以下の通り配分させていただきました。

- ミャンマー・バプテスト・コンベンション《20のキリスト教団体が所属》(100万円)
- NPO法人「ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会」(100万円)
- 北海教区アジア民族情報センター・アイヌ奨学金キリスト教協力会 (150万円)
- 東北教区放射能問題支援対策室いずみ (150万円)
- 教会学校応援セット (2教会・25万4,264円)

* 残金は広報費などに用いました。